

# 地質ニュース

昭和 59 年 8 月 第 360 号 1984

明石海峡大橋地質調査の概要.....	西垣好彦... 6
リトラクタブルビットシステムと 孔底ビット交換システム.....	加藤藤内完幸...19
中国の鉱床地質学——その揺籃期.....	岸本文男...26
コマチアイト・球顆状溶岩そしてアルカリ岩 —アピティブ緑色岩体の火山岩類をめぐって—.....	氏家治...40
中国の鉱物資源⑦ —揚子プレートフォームの鉱床, 城門山・徳興.....	中嶋輝允...50
須磨 SUMA.....	藤田和夫...68

口 絵	研究学園都市周辺地質の見どころ (その7) 大吠崎の海岸	田中啓策 坂本井義 正 井 郎
-----	---------------------------------	-----------------------

## 編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

### 表紙の写真

#### 大吠崎の白亜紀砂岩層

関東平野の東端 銚子半島は、グラビアでも触れているように、各時代の多様な岩層が見られる「野外地質博物館」です。それに、この半島の古期岩類は、分布はごく狭いとはいえ、関東平野の基盤について、ひいては日本列島の地体構造を考察する上で貴重な存在です。

グラビアでは、大吠崎付近の下部白亜系—銚子層群—について主として紹介しましたが、表紙の写真も燈台直下の白亜紀層、層理・葉理の美事に発達した白っぽい浅海成の砂岩層です。

白亜系は、北限の黒生付近の基底礫岩から始まって、その上に砂岩や砂岩泥岩互層がかさなり、大局的には南ほど上位が現れます。厚さは全体で900m以上。従来から三角貝やアンモナイトの産出が知られていましたが、最近では浮遊性有孔虫も検出され、時代論が明確になって来ました。また、この地層が浅海からやや深い海にかけての環境で形成されたものであることも判ってきています。

(坂本亨 正井義郎)

### 9月号予定目次

元素・太陽系存在度と地球存在度

希ガスからみた宇宙物質

—超新星との遭遇と太陽系創造物の物語—

Ca, Al-rich inclusions からみた原子太陽系における  
化学分別過程

分化した隕石とは

隕石の反射スペクトルと小惑星表面物質